

小学生のみなさんへ

西宮市教育委員長

井ノ元 由紀子

## 「心」という根っこを太くして

「人は決して一人ではない。誰かに支えられて生きている、誰かとつながって今の自分がある。」・・・この夏、オリンピックに出場した選手の多くが、試合後のインタビューで、こう語っています。私たちも、あの東日本大震災の日から、悲しみを乗り越え、復興に向けてともに生きていく中で、あらためてそのことを感じています。

誰かと思いがぶつかって、「どうせ自分なんて」と思うことがあるかもしれません。でも、この世にいない人は、絶対にいません。みんな大切な一人なのです。みなさんの命は、お父さん、お母さんはもちろん、多くの人たちの命のバトンを受けついで生まれてきた大切な命なのです。決して自分だけの命ではありません。

時々、悩んだり心が揺れたりして自分が小さく見えることがあるかもしれません。でも本当は、心の中にたくさんの可能性をもって生まれてきた「未来の宝」なのです。

たんぽぽは、冬の間は地面にはりつき枯れたように見えます。でも、本当は、枯れているのではなく、土の中で、人には見えないところで根っこを深く深く張り巡らせているのです。春になってきれいな花を咲かせられるように、踏まれても立ち上がる花になれるように、そして、花の後には、高く高く立ち上がって遠くに種を飛ばせるように。

大切なのは「心」という根っこを強くすることです。そのために、友達や地域の人たち、社会に生きる様々な人と出会い、ともに活動する中で、生き方を学び、優しい心、あきらめない心、思いやりの心、勇気の心、夢や目標をもつ心、努力する心など、体験を通して自分の心をどんどん磨いていってください。そして、もし困ったり苦しくなったりしたときには、周りにいる家族や友達や先生たちに声をかけてください。きっと誰かが支えてくれます。

みなさんが、この西宮市で笑顔で学び、多くの友達に包まれ、夢や希望をもって成長できるよう、心から願っています。